

公表所管課長 様

政策推進課長 原井川 英一

会 議 要 録

名 称	令和 5 年度西予市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価委員会	
事 務 局	西予市政策企画部 政策推進課 政策・行革係	
	電 話 0894-62-6404	
	F A X	
開 催 日 時	令和 5 年 10 月 18 日(水) 13 : 22~14 : 51	
開 催 場 所	西予市役所 5 階 大会議室	
出席者	委 員	前田委員長、樋口副委員長、松友委員、山岡委員、宮西委員
	その他	
	事務局	宇都宮政策企画部長、原井川課長、大森補佐、橋本係長、玉岡主任、大本主事
議事内容 (要旨)		
前田委員長	1 開会あいさつ	
出席者各位	2 自己紹介	
事務局	3 協議事項 (令和 4 年度事業の評価について)	
委員	① 地方創生推進交付金事業 令和 4 年度の地方創生推進交付金事業に係る事業実績について説明。 【デジタル人材の教育・育成・誘致と産業の DX による本県産業の稼ぐ力強化プロジェクト】 高度人材の育成と高齢者へのスマホ教室は、事業のター	

	<p>ゲティングが異なるが、全体的に DX を推進する考えか。</p>
事務局	<p>全体的に DX を推進する考え。</p>
委員	<p>【西予市移住・定住、地方創生人材育成プロジェクト】 野村高校のコーディネーターの現状と今後の対応について説明をお願いします。 県内・市内の移住者の動向や年齢構成などについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>野村高校のコーディネーターについては、1名が辞められて現在1名体制となっている。今後は、来年の1月に1名が着任予定のため、2名体制となる予定。 (昨年度の移住者の年齢構成や移住理由等の実績について、データをもとに説明。) 当データは転入届を出した方に任意でアンケートを取って把握しているため数字的な信憑性が低い、追跡調査などができていない現状。</p>
前田委員長	<p>県内移住者 7,162 名のうち南予は 1,001 名という実績であり、西予市も多くの移住者を獲得しているが、定住についても今後推進することを検討すべき。</p> <p>修正事項無し。</p>
事務局	<p>② 地方創生拠点整備交付金事業 令和4年度の地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実績について説明。</p>
委員	<p>【ジオの恵み！ジオリゾートプロジェクト】 目標値と実績値の乖離が大きく見受けられるが、何か理由はあるか。</p>
事務局	<p>当資料の目標値及び実績値の示し方が令和3年度との比較値となっており、令和3年度が新型コロナウイルス感染症の影響で実績値が下がっていたため、令和4年度の実勢値が目標値と大きく乖離（向上）しているように見える。</p>
前田委員長	<p>現在の資料では単年度の比較が難しいため、次年度以降については資料作成の際に、実績値を記載するなど、でき</p>

委員	<p>る範囲で修正を検討いただきたい。</p> <p>宿泊者が 1,181 人ということだが、部屋数はどの程度あるのか。また、夏休みや休日のキャンプ場の予約が人気であると聞いたが、新型コロナウイルス感染症収束後の予約に関して対応に人材は不足しない見通しか。</p>
事務局	<p>部屋数は 5 部屋。ジオリゾート周辺に新しく柑橘加工場が整備された。例えば、キャンプ需要による夏の繁忙期はジオリゾートで雇用し、柑橘の繁忙期である冬季については柑橘加工場で雇用を行うことで、人材不足に対応できる体制を構築することができると思う。</p>
委員	<p>ジオリゾートとチャレンジスペースに係る経費は、指定管理制度を取り入れてから減少しているのか。</p> <p>地域づくり活動センターの将来的な維持の方向性についてはどのように考えるか。</p>
事務局	<p>シーサイドサンパークの事業については、以前は年々市からの持ち出しが増えていたが、現在の体制では経営体制の見直しや長期的な計画を立てることで経営改善を検討いただいている。チャレンジスペースについては、指定管理委託料は発生していない。</p> <p>地域づくり活動センターについては令和 5 年 4 月から運用しており、冊子などを作成した上で市民への周知もしているが、十分に理解いただいていない状況。センター化に取り組む際、将来的には指定管理者制度を取り入れたいといった地域もあり、センターを活用して利益を上げる仕組みが構築できるのであればそういった事も可能と考える。直近においては、まずは直営で運営を行い、自立ができる段階で指定管理者制度に移行する考え。</p>
委員	<p>地域づくり活動センター長と地域の代表者は兼任できないのか。</p>
事務局	<p>センター長は市の施設を管理する者で、市長が任命するため、基本的にはセンター長と地域の代表者は別でお願いしている。なお、現在、センター長については、以前の公民館長がそのまま務めていただいているセンターが多い</p>

委員	<p>が、地域づくり組織の中から新たに選任していただいているところもあり、地域づくり活動センターによって様々な特徴が出ている現状。</p> <p>小規模多機能自治に向けて、基本的には自分達のことは自分達でできる環境づくりが進められている部分がある。センター長についても、就労時間を選択できる仕組みなど、実情に応じた取り組みをしており、地域の自治能力向上に向けた人材育成に繋がると評価する。</p> <p>修正事項無し。</p>
事務局	<p>③企業版ふるさと納税</p> <p>令和4年度の企業版ふるさと納税に係る事業実績について説明。</p>
委員	<p>寄附金を充当した主な事務事業として商店街空洞化対策事業が挙げられているが、具体的にどのような事業か。</p>
事務局	<p>空き店舗等を利用して、店舗として新規出店しようとする者に対して、建物の改修に要する費用の一部を補助することにより、空き店舗等の解消、商店街のにぎわいの創出及び周辺住民の利便性を確保する事業。</p>
委員	<p>個人版ふるさと納税は伸びているが、企業版ふるさと納税はあまり伸びが見られないのはPRの問題か。</p>
事務局	<p>PRの問題もあるが、企業と市の事業とのマッチングできていない現状もある。</p>
委員	<p>寄附していただいた会社名を教えてくださいか</p>
事務局	<p>大阪市の宇都宮製作株式会社が120万円。もう一つの会社は100万円で会社名は非公表。今年度は大塚商会から寄附をいただくことになっている。西予市の場合は、この事業に寄附をしたいというよりも、出身者や関係者から寄附をいただいているのが現状。西予市としては今後も力をいれて企業からの寄附を増やしていく方針。魅力ある事業を</p>

	<p>提案できるかということが課題。</p>
委員	<p>個人版ふるさと納税ももっと増やせるのではないか。返戻品は何が一番多いか。</p>
事務局	<p>個人版ふるさと納税は令和4年度には3億7千万ほどあり、今年度は5億を目指している。返戻品は柑橘が一番多い。</p>
委員	<p>返戻品の充実を図るべき。シルク関連や、体験型の返戻品など。自然に恵まれた環境を生かしてアクティビティにも力をいれてほしい。体験とジオリゾートの宿泊をセットにすることで相乗効果も生まれるのではないか。</p>
前田委員長	<p>田之筋での甘酒や横林での原木シイタケなども返礼品になっている。地域づくり活動センターのビジネス面を活性化させることで、返礼品も充実してくるのではないか。</p> <p>また、企業の特徴を生かした社会貢献をしたいという企業は多いので、その繋がりを持っていくと可能性が広がるのではないか。</p> <p>修正事項無し。</p>
前田委員長	<p>4 その他</p> <p>全般的な西予市政についての要望を委員の皆さんにいただきたい。</p>
委員	<p>人口減少対策の現状を教えてください。</p> <p>産業の衰退にかなり危機感を持っている。行政としても企業誘致などの産業支援に力を入れて取り組んでほしい。</p>
事務局	<p>人口減少対策は、大きなものとして、えひめ人口減少対策総合交付金を活用し、不妊治療支援や、結婚新生活支援などの多くのメニューを準備し、市民の皆さんへの支援に繋げている。</p> <p>また職員63名からなる人口減少対策のプロジェクトを発足し、対策事業の検討をおこなっている。現在、15の事業提案があり、どの事業を行うかを選定しているところ。</p>

	<p>決まれば、令和6年度から順次行っていきたい。 企業誘致等については経済振興課が行っている。</p>
前田委員長	<p>特効薬はなく、いろいろな政策を組み合わせで考えないといけない。南予は、仕事と住まいが課題。仕事を用意して来てもらうことは難しい部分もあるため、リモートで仕事ができる人をどう呼び込んでいくかも重要。</p>
委員	<p>経営者の高齢化や事業継承の問題が大きいと感じている。市とも連携してやっていきたい。 市は移住定住施策に力を入れているが、全国的には協力隊が地域と馴染めなかったということも聞く。地域づくり活動センターを中心に受け入れる側も移住者が馴染めるような施策の充実をお願いしたい。</p>
委員	<p>労働局と市で昨年度末に雇用対策協定を結んだ。人口減少対策に仕事分野は大切な対策事業のため、協力しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>移住者の呼び込みも大切だが、高齢化が深刻化している西予市では高齢者への施策も重要。働いて自分の力で生きるという啓蒙が大切。健康寿命を延ばしていくための勉強を市民向けに行ってほしい。</p>
前田委員長	<p>高齢者が生きがいを感じる働く場を作ることが大切。それが高齢者の元気にも繋がっていく。</p> <p>また、今の地域を持続可能な形にしていくために、関係人口を増やしていき、地域外の力を借りる発想も大事。そのような仕組みづくりを考えてほしい。</p> <p>その他に意見が無いようなので、これで協議を終了する。</p> <p>5 閉会あいさつ【部長】</p> <p>【閉会】</p>
備考	<p>報告書の様式について、前年度からの増加数だけでなく、実績値も分かるような資料に修正すること。</p>